

令和5年度 事業報告

社会福祉法人 以和貴会

令和 5 年 度 事 業 報 告

施設名：特別養護老人ホーム 聖徳荘

1. 運営方針

『安全そして安心』の基本理念の基に、利用者個人の尊厳を尊重し、利用者が有する残存能力や健康状態に応じた生活を営むことができるよう、『尊敬・感謝・奉仕』の気持ちを持ち、常に利用者の立場に立ったサービスを提供するよう努める。また、利用者が安心して、楽しく生活できるよう個別支援に努める。

2. 事業方針

(1) 介護支援

基本方針	利用者及び家族のニーズを把握し、それに基づく個別のサービス計画書を作成するとともに、適切な介護支援を行い、利用者の生活の質が向上するように努める。	
	重点目標 / ・実施計画	※事業報告
	1. 個別のケアプランを担当介護員とともに多職種協働で作成する。 ・個別のケアプランを多職種協働で作成し、サービス内容を十分理解しながら適切な介護支援を行い、介護サービスの向上に努める。	※入所者のアセスメントやケアプランのモニタリングを行い、他職種と協議の上、作成に努めた。 ※介護員や看護員との情報共有、共通理解を深め、サービス内容の向上に努めた。
	2. 研修に参加し、スキルアップを図る。 ・自らのケアプラン作成や実施状況について評価し、利用者の生活の質を高めるケアプランの作成、実施に努める。 ・介護支援専門員更新研修への参加や主任介護支援専門員取得の為の研修へ参加し、スキルアップに努める。	※施設介護支援専門員研修に参加し、介護支援のスキルアップ、他施設職員との情報共有に努めた。 ※ケアプラン作成、実施状況の評価し、ケアプラン内容の向上に努めた。

(2) 生活相談

基本方針	利用者一人一人に「その人らしい生活」を送っていただけるよう個別のニーズに柔軟に対応する。	
	重点目標 / ・実施計画	※事業報告
	1. 利用者が望む生活に少しでも近づけて、聖徳荘が「居心地の良い場所」になるよう努める。 ・集団生活の中でも、その人らしさを尊重し利用者の思いに寄り添う支援を目指す。 ・利用者や家族、施設に訪れる方から好感を持っていただけるよう、丁寧な対応を心がける。 ・困りごとや相談があった際は、多職種と協力し良い援助ができるよう努める。	※積極的に利用者とのコミュニケーションを取り、利用者が望む生活に近づけるよう努めた。
	2. 入所稼働率の安定化を図る。 ・利用者の高齢化や重篤化により入所期間の短縮が予想されるので、入退所の調整を円滑に行い、稼働率アップを目指す。 ・新型コロナウイルス等の施設内集団感染が発生すると一時的に新規入所者の受け入れができなくなるので、クラスター終息後スムーズに入所できるよう調整する。	※令和5年度は、施設内で感染症のクラスターが発生しなかったことと、退所者が比較的少なかったため、入所の受入がスムーズにでき稼働率を上げることができた。

(3) 健康管理

基本方針	利用者の健康状態を的確に把握するとともに嘱託医師との連絡を密にし、健康管理の徹底強化と疾病の予防に努める。
------	---

重点目標 / ・実施計画	※事業報告
1. 利用者の健康状態の管理 ・医師、看護、介護、生活相談員、ケアマネジャーとの連携のもと、利用者一人一人のバイタルサインと体調のチェックを行い、早め早めの対応をする。	※健康チェックを行い、体調不良等の早期発見に努めた。また、体調不良や急変時には迅速に対応するよう努めた。
2. 誤嚥の防止 ・食前体操を行い、口腔機能を高めるとともに、経管栄養の利用者に対しても口腔体操を行い、誤嚥防止に努める。	※各ユニットで口腔体操を行い、口腔機能の維持・向上を目指し、誤嚥防止に努めた。
3. 転倒の防止 ・機能訓練を行い筋力の低下を防ぎ、転倒防止に努める。	※生活リハビリや個別機能訓練、集団での機能訓練を行い、筋力低下を予防し転倒防止に努めた。

(4) 給食

基本方針	利用者の健やかな老後のため、食を通じて健康の維持・増進を図り、郷土料理や季節の行事食などから楽しく豊かな食生活を過ごしていただく。	
	重点目標 / ・実施計画	※事業報告
	1. 健康の維持増進のため、個々の適切な栄養管理を図る。 ・栄養ケアマネジメントを実施し、多職種とともに個々の利用者のリスク改善に努め、健康の維持増進を図る。	※栄養ケアマネジメントを実施し、多職種の職員とともに入所者全員のリスク改善に努め、健康の維持増進を図った。必要時使い捨て食器を使用し、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた。
	2. 個々のQOL(生活の質)の向上に努める。 ・個々の嗜好に合わせて代替食を提供し、月2回の行事食などから季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。	※利用者の嗜好に応じた代替食の提供や、月2回の行事食を実施することで季節感のある豊かな食生活を過ごして頂くように努めた。

(5) 職員

基本方針	職員の健康管理に留意するとともに、職場内外の研修に積極的に参加し、専門職としての知識・技術及び資質向上に努める。	
	重点目標 / ・実施計画	※事業報告
	1. 専門職としての資質向上に努める。 ・各研修会に積極的に参加する。 ・資格取得に努める。	※動画や対面での研修・講習会に積極的に参加し、知識の習得・資質向上に努めた。
	2. 健康管理に留意する。 ・定期健康診断の実施結果をもとに自己管理を呼びかける。 ・コロナ予防接種、インフルエンザ予防接種を実施し、疾病の予防に努める。	※健康診断結果をもとに自己管理を呼びかけた。 ※インフルエンザ予防接種は施設内で実施、新型コロナ予防接種は任意に実施し、疾病の予防に努めた。

(6) 苦情処理

基本方針	苦情に発展しそうなケース等の情報を共有し、苦情を未然に防ぐよう努める。また苦情発生時には迅速に対応する。	
	重点目標 / ・実施計画	※事業報告
	1. 苦情を未然に防ぐ。 ・利用者や家族等に対し不適切な言動や態度、不快感をもたらすような対応にならないように心がける。	※不適切な言動や態度等がないよう心掛け、苦情を未然に防ぐことができた。
	2. 苦情には誠実に対応する。 ・苦情発生時には迅速かつ誠実に対応し、情報の共有を図り再発防止に努める。	※苦情はなかったが、要望等には可能な限り対応するよう努めた。

(7) 事故防止

基本方針	「安全そして安心」な生活が送れるよう、利用者一人一人のリスクを考慮したサービスを提供する。	
	重点目標 / ・実施計画	※事業報告
1.	適切なリスクマネジメントを実施して、環境を整える。 / ・利用者一人一人に適正な介護サービスを提供し事故防止に努める。・ハード面での危険箇所を把握し、事故防止に努める。	※リスクマネジメントを行い、事故防止に努めた。
2.	事故の再発防止に努める。 ・事故の原因を考察し、対策を検討して再発防止に努める。	※委員会や勉強会で事故の対策を検討し、再発防止に努めた。

(8) 施設防災

基本方針	火災や自然災害の発生を想定し、防災訓練を実施する。	
	重点目標 / ・実施計画	※事業報告
1.	防災訓練を実施する。 ・消防計画に基づき防災訓練を実施し、職員に対し防災に対する意識づけを行う。	※防災訓練を実施して防災に対する意識づけを行った。
2.	消防設備や非常食等の確認を行う。 ・消火器等の消火設備や緊急時において必要となる非常食などの点検を定期的実施する。	※消火設備や非常食の点検を行い、災害に備えた。

(9) 介護

基本方針	利用者一人一人が安心して生活できるよう個人が抱える問題解決への取り組みを積極的に行う。	
	重点目標 / ・実施計画	※事業報告
1.	情報の共有 ・部署間、介護職員間の情報交換を積極的に行い、円滑なサービス提供ができるよう努める。	※知り得た情報は速やかに伝達共有することで円滑なサービス提供を行うことができた。
2.	速やかな問題提起 ・業務の中で感じる疑問や改善点など後回しにせず、速やかに相談報告することでサービス提供の向上につなげる。	※業務について話し合える場を設け、経験年数に関係なく発言できるよう努めた。また、改善点などは提案者を中心に話し合いを行い、速やかな改善実施に取り組んだ。

<各ユニット>

ユニット	目標 / ・実施計画	※事業報告
山の都	1. 利用者が怪我や事故のないよう安心した生活を送っていただく。 ・転倒等のリスクが高い利用者の見守りを強化する。 ・各ユニットへの情報の申し送りを徹底する。 ・ホールや居室の整理整頓をする。	※事故のリスクを減らせるよう話し合い、情報を共有し、安全な生活を送って頂けるよう介助等を行った。
	2. 清潔保持、感染予防に努める。 ・一行為一手洗消毒を徹底し、感染を予防する。 ・常に清潔な衣類を身に着ける。	※一行為一手洗いを実施し、職員が周囲への感染源にならないよう努めた。 ※利用者一人一人が手洗い消毒を行い、清潔を保ち、感染予防ができた。
季の都	1. ADL（日常生活動作）低下の予防及び充実した生活を送る。 ・ホール・居室の整理整頓を行う。 ・利用者が安全に移動できるよう動線を確保する。	※季節に合わせてユニット内の飾りつけを行い、利用者が楽しく過ごせるよう努めた。 ※職員と利用者、利用者同士のコミュニケーションを大事にした生活を送ることができるよう努めた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた飾り付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ホールや居室の整理整頓を心がけ利用者が快適に事故無く過ごせるよう努めた。
	<ul style="list-style-type: none"> 2. 身体の清潔保持と感染予防に努める。 ・おむつ交換・入浴介助を通して身体の変化を観察する。・常に清潔な衣類を身に着ける。・一行為一手洗、消毒を徹底し、感染を予防する。 	<ul style="list-style-type: none"> ※介助の際に、利用者の状態観察を行い、普段とは違う変化、異常の早期発見、他職種との連携を図り対応に努めた。 ※手洗い消毒の徹底を行い、感染予防に努めた。
海の都	<ul style="list-style-type: none"> 1. ホール・居室内の美化・整理整頓を心掛ける。 ・荷物の整理整頓を行う。 ・利用者が安全に移動できるよう動線を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ホール壁面に装飾等で、季節感を感じていただけるよう美化に努めた。 ※利用者の動線に障害物がないよう安全確保に努めた。
	<ul style="list-style-type: none"> 2. 身体の清潔保持と感染予防の徹底 ・一行為一手洗い消毒、換気を徹底し、感染を予防する。 ・おむつ交換、入浴時身体の変化を観察し、異常の早期発見に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ※入浴やオムツ交換時身体確認し異常があれば看護職員に報告し、早期治癒に努めた。 ※職員が感染症の媒介にならないよう手洗い消毒マスク使用を徹底し感染予防に努めた。
花の都	<ul style="list-style-type: none"> 1. 清潔保持と感染予防の徹底 ・利用者に対する身体介助を行った後は手洗消毒を行い、感染予防と蔓延予防に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ※衣類の汚れを確認した際は着替えを行い、清潔保持に努めた。 ※職員が媒介者にならないよう手洗消毒を行い感染予防に努めた。
	<ul style="list-style-type: none"> 2. ユニット内の美化と・居室の環境整備 ・ホール・居室・汚物室の整理整頓を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ※整理整頓を心掛け、利用者の動線に障害物がないよう安全確保に努めた。
森の都	<ul style="list-style-type: none"> 1. 身体の清潔保持と感染予防 ・一行為一手洗い消毒を徹底し、感染を予防する。 ・おむつ交換、入浴時に身体の変化を観察し、異常の早期発見につなげる。 ・職員の体調管理に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ※手洗い消毒を行い、感染予防ができた。 ※皮膚トラブルなどは発見次第看護職員へ報告し状態観察を行った。 ※職員は体調管理を心掛け、体調を崩すことなく出勤することができた。
	<ul style="list-style-type: none"> 2. ADL（日常生活動作）低下の予防 ・体調の変化に注意し、寝たきり防止に努める。・声かけを多くし、コミュニケーションを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ※訪室時の声かけを多くするなどしてコミュニケーションを図った。また、自分でできることは行ってもらい寝たきり防止に努めた。
空の都	<ul style="list-style-type: none"> 1. 身体の清潔保持と感染予防の徹底 ・おむつ交換入浴介助を通し身体の変化を観察する。 ・一行為一手洗い消毒、室内の換気を徹底し、感染を予防する。 ・職員の体調管理に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ※オムツ交換時の洗浄や入浴介助時に全身状態を確認し、清潔を保てるよう努めた。 ※感染症予防対策として室内の換気をし、職員の体調管理を行い感染の媒介者にならないよう心がけた。
	<ul style="list-style-type: none"> 2. ADL（日常生活動作）低下の予防に努める。 ・ケアマネージャー、生活相談員、看護職員、管理栄養士、介護職員各部署で情報を共有し利用者に合った介護を提供できるよう努める。 ・利用者が安全に移動できるよう動線を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ※ADL（日常生活動作）低下の変化などを他職種職員と情報共有し、利用者に合った介護ができるよう努めた。 ※利用者が安全でスムーズに移動できるよう利用者の席や物の配置を考え動線の確保に努めた。

令和 5 年 度 事 業 報 告

施設名：特別養護老人ホーム 聖徳荘

(短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業)

運営方針	利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、心身の状況に応じた介護を行い、「安全そして安心」で安らぎのある生活を送ることができるよう支援するとともに、地域に貢献し信頼され選ばれる施設であるよう努める。	
	重点目標／ ・実施計画	※事業報告
1.	<p>サービス利用時の不安を軽減し、安心してサービスが利用できるよう努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防の為、飛沫感染防止ボードや検温、手指の消毒、マスク着用など感染症予防対策に努める。 ・利用者、家族の生活状態を理解、把握し短期入所計画書の作成を行い、利用者や家族が必要とするサービスを提供する。 ・利用者の身体、精神状態に合わせた介護、在宅生活の継続性を意識した質の高いサービスを提供する。 	<p>※サービス利用前に検温や体調確認などの健康観察をして頂き、また施設内でも感染症予防対策を行い新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ感染症のクラスター発生なくサービスを提供することができた。</p> <p>※利用者の状態や生活状況に合わせ、その都度短期入所計画書の変更・作成を行い、利用者や家族が必要とするサービスや在宅生活の継続性を意識したサービスの提供ができた。</p>
2.	<p>利用者や地域から信頼され選ばれる施設を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所と連携を図り、多くの地域利用者に利用して頂けるよう努める。 ・苦情発生時には、迅速に誠意を持って対応し、改善対策を検討し再発防止に努める。 ・不安や悩みを気軽に相談できる環境を作り、適切な助言、援助を行えるよう努める。 	<p>※苦情はなかったが、利用者や家族の要望が聞かれた際には、その都度誠意を持って対応することができた。</p> <p>※利用者や家族とコミュニケーションを図り、気軽に相談できる環境作りに努めた。また、相談があった場合、助言や援助をすることができた。</p>
3.	<p>事故予防及び再発予防に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況とハード面における危険箇所を把握し、事故を予防して安全に生活して頂く環境作りに努める。 ・事故予防、防止の知識・技術力の向上に努める。 ・利用者の情報を共有化し、事故防止に努める。 	<p>※利用者の状態や危険個所の把握を徹底し、事故の予防に努めた。</p> <p>※事故検討委員会を開き事故予防、事故防止の知識・技術力の向上に努めた。</p> <p>※新規利用者や身体状況に変化がみられた利用者には介護職、看護職、居宅介護支援事業所等と連携を図り情報を共有しながら事故防止に努めた。</p>
4.	<p>給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の維持・増進のため、利用者への適切な食事提供に努める。 ・個々のQOL（生活の質）の向上に努める。 ・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量、食態などを考慮し、食事提供をする。 ・個々の嗜好に合わせて代替食を提供し、月 2 回の行事食などから季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。 	<p>※利用者の健康状態に応じた適切な食事の提供に努め、個々の嗜好に合わせた代替食の提供や月 2 回の行事食を実施することで、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただけるように努めた。</p>

令和 5 年 度 事 業 報 告

施設名：デイサービスセンター 聖徳荘

(地域密着型通所介護事業・介護予防日常生活支援総合事業)

運営方針	在宅の要介護者・要支援者へ通所介護サービスを提供することにより、利用者の心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消等を図るとともに、安定した在宅生活を助長し、その家族等介護者の精神的、身体的な負担の軽減を図る。	
	重点目標／ ・実施計画	※事業報告
1.	<p>利用者のニーズに応じたサービスの提供と介護者の介護負担の軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態を把握し、利用者が希望し必要とするサービスを提供する。 ・介護者の介護負担軽減につながるサービスを提供する。 ・季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、また生きがいを感じられるようサービスの提供に努める。 ・定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合ったサービスを提供する。 ・感染予防をしながら、安心して通える場所の提供に努める。 	<p>※家族や居宅介護支援事業所と連絡を密にし、利用者が希望、必要とするサービスの提供に努めた。</p> <p>※利用者の状態を把握し、利用回数の見直しや送迎時間の調整を行い、介護者の負担軽減に努めた。</p> <p>※カレンダー作成や菜園活動、外出活動等を通し季節感を感じて頂ける様な行事を実施することが出来た。</p> <p>※毎日のミーティング、月 1 回定期的にカンファレンスを行い、変化があった利用者への職員間での対応の共有を図った。</p> <p>※短期目標に対し、半年に 1 度評価を行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し、利用者の身体状態に合ったサービスの提供に努めた。</p> <p>※感染予防対策の為、ご家庭での検温や送迎車内での検温、体調の確認等を行い、こまめな消毒、マスクの着用を継続し感染予防に努めた。</p>
2.	<p>研修等への積極的な参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画配信研修等に積極的に参加し、研修報告の勉強会を開催するなどして、知識及び技術の向上に努める。 	<p>※集合研修も増え、デイサービスに必要な食事や生活リハビリ、介護現場におけるリスクマネジメント、生活相談員等の研修に参加、実際の現場に実践できるよう職員の知識及び技術の向上に努めた。</p>
3.	<p>苦情処理の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決に努める。 	<p>※利用者や家族からの要望は職員間で報告、情報共有し対応した。居宅介護支援事業所等との連絡を密に図りながら苦情に繋がる事はなかった。</p>
4.	<p>事故対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決に努める。 ・事故が発生した場合には、事故のシミュレーションによる検討を行い再発防止につなげる。 	<p>※事故発生後は速やかに対処し、シミュレーションを実施して対策を考え再発防止に努めた。</p>
5.	<p>給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の維持・増進のため、利用者への適切な食事提供に努める。 ・個々のQOL（生活の質）の向上に努める。 ・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量、食態などを考慮し、食事提供をする。 ・個々の嗜好に合わせて代替食を提供し、月 2 回の行事食などから季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。 	<p>※利用者の健康状態に応じた適切な食事の提供に努め、個々の嗜好に合わせて代替食の提供や月 2 回の行事食を実施することで、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただけるように努めた。</p>

令和5年度 事業報告

施設名：デイサービスセンター 聖徳荘

(認知症対応型通所介護事業・介護予防認知症対応型通所介護事業)

運営方針	認知症の診断を受けている要介護者・要支援者へ通所介護サービスを提供することにより、利用者の心身機能の維持向上、社会的孤立感の解消等を図るとともに、安定した在宅生活を助長し、その家族等介護者の精神的、身体的な負担の軽減を図る。認知症に対する専門的な知識・対応を用いて症状の緩和・進行予防に努め、その家族等介護者の相談に対応していく。	
重点目標／ ・実施計画		※事業報告
1. 利用者のニーズに応じたサービスの提供と介護者の介護負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や居宅介護支援事業所等と連絡を密にし、利用者の状態を把握し、利用者が希望し必要とするサービスを提供する。 ・介護者の介護負担軽減につながるサービスを提供する。 ・季節に応じた行事等を行い、四季を感じ、また生きがいを感じられるようサービスの提供に努める。 ・定期的にケアカンファレンスを行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し、見直し改善を図り、利用者の状態に合ったサービスを提供する。 ・感染予防をしながら、安心して通える場所の提供に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ※家族や居宅介護支援事業所と連絡を密にし、利用者が希望、必要とするサービスの提供に努めた。 ※利用者の状態を把握し、利用回数の見直しや送迎時間の調整を行い、介護者の負担軽減に努めた。 ※カレンダー作成や菜園活動、外出活動等を通し季節感を感じて頂ける様な行事を実施することが出来た。 ※毎日のミーティング、月1回定期的にカンファレンスを行い、変化があった利用者への職員間での対応の共有を図った。 ※短期目標に対し、半年に1度評価を行い、多職種協働で通所介護計画書を作成し、利用者の身体状態に合ったサービスの提供に努めた。 ※感染予防対策の為、ご家庭での検温や送迎車での検温、体調の確認を行い、こまめな消毒、マスクの着用を継続し感染予防に努めた。
2. 研修等への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> ・動画配信研修等に積極的に参加し、研修報告の勉強会を開催するなどして、知識及び技術の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ※集合研修も増え、デイサービスに必要な食事や生活リハビリ、介護現場におけるリスクマネジメント、生活相談員等の研修に参加、実際の現場に実践できるよう職員の知識及び技術の向上に努めた。
3. 苦情処理の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者及び家族等から苦情があった場合には直ちに対処するとともに、苦情解決委員会設置要綱に基づき、速やかな解決に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ※利用者や家族からの要望は職員間で報告、情報共有し対応した。居宅介護支援事業所等との連絡を密に図りながら苦情に繋がる事はなかった。
4. 事故対応	<ul style="list-style-type: none"> ・事故が発生した場合は、マニュアルに基づき速やかに対処し、解決に努める。 ・事故が発生した場合には、事故のシミュレーションによる検討を行い再発防止につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ※事故発生後は速やかに対処し、シュミレーションを実施して対策を考えながら再発防止に努めた。
5. 給食	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の維持・増進のため、利用者への適切な食事提供に努める。 ・個々のQOL(生活の質)の向上に努める。・利用者の健康状態に合わせた適切な栄養量、食態などを考慮し、食事提供をする。 ・個々の嗜好に合わせて代替食を提供し、月2回の行事食などから季節感のある豊かな食生活を過ごしていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ※利用者の健康状態に応じた適切な食事の提供に努め、個々の嗜好に合わせた代替食の提供や月2回の行事食を実施することで、季節感のある豊かな食生活を過ごしていただけるように努めた。

令和 5 年 度 事 業 報 告

施設名：居宅介護支援事業所 聖徳荘

(居宅介護支援事業)

運営方針	在宅において、利用者一人一人が安心してその人らしく暮らせるよう自立支援に努めるとともに、家族へのサポートも大切にする。	
	重点目標 / ・実施計画	※事業報告
	<p>1. 居宅サービスが円滑に提供できるよう、居宅サービス提供事業者及び利用者のかかりつけ医師との連携を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関やかかりつけ医師との連携を密にとる。 	<p>※医師や関係機関等へ情報提供を密に行い、連携をとるよう努めた。</p>
	<p>2. 個別のニーズに対応し、その人らしさを組み入れた居宅サービス計画を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに応じたサービス計画書の作成。 	<p>※利用者・家族の視点になり各事業所と連携を図り、ニーズに応じた居宅サービス計画の作成ができた。</p>
	<p>3. 多様なニーズに応えられるよう、研修会等へ参加し、資質の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会等へ積極的に参加し、他事業所との意見の交換を図る。 ・利用者及び家族が不安なく在宅で生活ができるよう援助する。 	<p>※研修の参加はなかったが、他事業所との意見交換を密に図り資質向上に努めた。</p> <p>※安心して相談できる環境作りに努めた。</p>

令和5年度研修会参加一覧

	期間	研修会名	主催	部署	出席	職種
1	令和5年 4月27日	いわき集団栄養給食研究会総会	いわき集団栄養給食研究会	特養	1	管理栄養士
2	4月27日	第8回総会及び施設長研修会	一般社団法人 福島県老人施設協議会	特養	1	施設長
3	5月18日	新規学卒予定者求人受理説明会	いわき公共職業安定所	特養	1	施設長
4	5月26日	高齢者介護施設等における感染対策	一般財団法人 福島県看護協会	特養	1	看護師
5	6月08日	第1回 地域保健関係職員等研修会 「栄養改善担当者」	いわき市保健所地域保健課 健康増進係	特養	1	管理栄養士
6	6月13日	施設ケアマネ研修会	一般社団法人 福島県老人施設協議会	特養	1	介護支援専門員
7	7月01日～ 7月31日	事務長等研修会（動画） 働き方改革に伴う、介護職員の就労 条件の在り方	一般社団法人 福島県老人福祉施設協議会	特養	1	主任事務員
8	7月11日	いわき集団栄養給食研究会	いわき集団栄養給食研究会	特養	1	管理栄養士
9	7月14日	福島県老人福祉施設協議会 第3回理事会	一般社団法人 福島県老人施設協議会	デイ	1	施設長
10	7月17日～ 7月20日	主任介護支援専門員更新研修	福島県介護支援専門員協会	居宅	1	介護支援専門員
11	7月21日	福島県社会福祉法人経営者協議会 総会	福島県社会福祉法人 経営者協議会	特養	1	施設長
12	8月18日～ 8月31日	看取り（動画配信）	介護労働安定センター	特養	1	看護師
13	9月01日～ 9月30日	機能訓練計画の立案	一般社団法人 福島県老人施設協議会	特養	1	看護師
14	9月01日～ 9月30日	高齢者施設における急変時の対応	一般社団法人 福島県老人施設協議会	特養	6	看護師
15	9月13日～ 9月26日	2024年介護保険制度改正の概要	介護労働安定センター	特養	1	主任事務員
16	9月04日	「介護職員研修」食べることを支援 するために必要なこと	一般社団法人 福島県老人施設協議会	デイ	1	介護員
17	9月11日	いわき集団栄養給食研究会	いわき集団栄養給食研究会	特養	1	管理栄養士
18	10月11日	安全運転管理者等講習	一般社団法人 福島県安全運転管理者協会	特養	1	施設長
19	10月13日	福祉サービスセミナー「介護場面 におけるリスクマネジメント」講座	NPO法人 福島県福祉サービス振興会	デイ	1	介護員
20	10月19日	いわき褥瘡ケアネットワーク 第22回セミナー	いわき褥瘡ネットワークワーク 公益財団法人ときわ会常磐病院	医務	1	看護師
21	11月06日	福祉サービスセミナー「現場で使え る生活リハビリテーション」講座	NPO法人 福島県福祉サービス振興会	デイ	1	看護師
22	11月08日	高齢者等福祉施設を対象とした 防火安全講習会	いわき市消防本部 予防課予防係	特養	1	統括主任 生活相談員
23	11月10日	福島県老人福祉施設協議会 第4回理事会	一般社団法人 福島県老人施設協議会	デイ	1	施設長
24	11月13日	いわき集団栄養給食研究会	いわき集団栄養給食研究会	特養	1	管理栄養士

25	11月20日	車椅子贈呈式	社会福祉法人 福島県社会福祉協議会	特養	1	施設長
26	12月05日	「生活相談員研修会」	一般社団法人 福島県老人施設協議会	デイ	1	生活相談員
27	12月13日	社会福祉施設栄養士研修（オンライン）	社会福祉法人 福島県社会福祉協議会	特養	1	管理栄養士
28	12月15日	苦情解決責任者・第三者委員研修	福島県運営適正化委員会	特養	1	施設長
29	令和6年 1月01日～ 1月31日	機能訓練担当職員研修会 （動画）	一般社団法人 福島県老人施設協議会	特養	1	看護師
30	1月27日	いわき市医療安全対策研修会 （Zoom）	いわき市保健所 総務課医療薬事係	特養	1	主任看護師
31	1月29日	いわき市住民支え合い活動づくり事業「内郷地区第2層協議体」第12回会議	社会福祉法人いわき市社会福祉協議会内郷地区協議会	特養	1	施設長
32	2月02日	いわき集団栄養給食研究会	いわき集団栄養給食研究会	特養	1	管理栄養士
33	2月13日～ 2月26日	2024年介護保険制度改正と介護報酬改定	介護労働安定センター	特養	1	主任事務員
34	2月15日	特定非営利活動法人 地域福祉ネットワークいわき理事会	特定非営利活動法人地域福祉ネットワークいわき	特養	1	施設長
35	2月21日	福島県老人福祉施設協議会 第5回理事会	一般社団法人 福島県老人施設協議会	デイ	1	施設長
36	2月28日	第2回地域保健関係職員等研修会 「栄養改善担当者」（WEB）	いわき市保健所地域保健課 健康増進係	特養	1	管理栄養士
37	2月29日	第3回福祉推進会議及び福祉推進委員研修会	いわき市社会福祉協議会 内郷地区協議会	特養	1	施設長
38	3月01日	2023年科学的介護情報システム（LIFE）研修会（オンデマンド閲覧）	厚生労働省 （国立長寿医療研究センター）	特養	1	介護支援専門員
39	3月07日	いわき褥瘡ケアネットワーク 第23回セミナー	いわき褥瘡ケアネットワーク 公益財団法人ときわ会 常磐病院	特養	1	主任看護師
40	3月15日	介護職員等処遇改善加算 オンラインセミナー	(株)TMC 経営支援センター	特養	1	事務員
			本部	計	0	
			特別養護老人ホーム	計	32	
			デイサービスセンター	計	7	
			居宅介護支援事業所	計	1	
				合計	40	